

クリニファー(432A)

国内外の医療用医薬品プラットフォームは特許取得
済みの情報提供機能を備え、新たな事業展開を睨む
TOKYO PRO Market | 医薬品卸売 | 会社紹介

ポイント

- 医療用医薬品の卸売に関して、国内向けECプラットフォーム、グローバル情報プラットフォームともに特許取得済みの情報提供機能を持つ。
- 供給不足や医療費抑制など国内市場が構造的課題を持つ一方、市場規模が大きく高利益率の海外市場向けの拡大は成長余地が大きい。
- 情報提供機能は新薬開発を目指す医薬品メーカー向けの定額課金による情報提供サービスとして、新たな成長機会を目指すことが可能だろう。

同社の事業について

医薬品卸売を展開する同社事業は、①国内向け（医療用医薬品ECプラットフォーム）、②海外向け（日本製医療用医薬品データベース）に区分される。2025/3通期の売上構成比は、①79%、②21%である。特長・強みとして以下の点が挙げられる。

第1に、医療用医薬品の国内向けECプラットフォームを持つことで、全国規模で商品を流通させる広域卸に負けない事業展開力を持っている点である。同社の「光成マーケット」は、豊富な品揃えのほか、煩雑な発注業務を簡素化・効率化する購買システムを提供している。医薬品の供給停止・出荷調整情報の掲載、有効成分による同成分検索機能などの情報提供機能にも強みがあり、これらの独自機能は特許を取得している。

第2に、国内市場よりも大きな市場規模かつ高い利益率が見込める海外市場向けの医療用医薬品データベースのグローバル情報提供プラットフォームを持っている点である。国内の医薬品卸売業界が医薬品供給不足や政府による医療費抑制、および物流コストの上昇といった構造的課題を抱えている中、同社の「synapse」は、海外の医療機関や医薬品輸入業者、研究機関などを対象に、製品情報の提供から見積請求・発注支援までを一貫して提供し、医薬品情報提供および調達支援の仕組みに関する特許を取得している。海外向け売上の構成比率を高めることが同社の成長の大きな原動力になり得る。

第3に、国内外プラットフォームに共通する、特許取得済みの高い技術に支えられた情報提供機能の成長可能性が大きい点である。同社は、新薬開発を目指す医薬品メーカーに対して定額の継続課金収入を主体としたSaaS事業として情報提供サービスの展開を検討している。医薬品メーカーとの関係構築は、医薬品の仕入れ安定化の観点でも有効であり、購買プラットフォームとの相乗効果も見込まれる。また、物理的なモノの仕入れ販売を伴わないことから、相対的に高い利益率と定額継続課金に伴う安定したキャッシュフローを生み出す事業として期待できる。

業績と見通し

2025/3通期実績は、売上高が前期比1.7%増の3585百万円、営業利益が同11.6%減の147百万円。会員制ECサイトの国内、海外向けの登録会員数がそれぞれ24%、15%増加した一方で、メーカー欠品や出荷調整による品薄傾向により主力商品の供給不足が発生し、顧客受注への十分な対応が困難となる場面が見られた。

2026/3通期会社計画は、売上高が前期比5.1%増の3767百万円、営業利益が同35.4%減の95百万円。医薬品供給不足や薬剤費削減政策の継続、業界内の競争激化により、経営環境は一層厳しさを増すと見込まれる中、デジタルプラットフォームを通じて得られる顧客ニーズや市場動向分析を活かした製品供給と高付加価値サービス提供を目指すとしている。

業績推移

(百万円未満切り捨て)

事業年度	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3F
売上高(百万円)	3,481	3,526	3,585	3,767
経常利益(百万円)	196	172	175	118
当期利益(百万円)	-94	-613	190	118
EPS(円)	-94.38	-613.40	190.26	118.66
PER(倍)	-	-	7.62	12.22
BPS(円)	1,508.36	868.30	1,016.06	-
PBR(倍)	0.96	1.67	1.43	-
配当(円)	0.00	0.00	0.00	0.00
配当利回り(%)	0.00	0.00	0.00	0.00

(※)2024/11/28付で普通株式1株を500株、および2025/7/1付で普通株式1株を10株とする株式分割を実施したが、EPS、BPS、配当などの1株当たり指標は、前後の比較のため、株式分割による発行済株式数の増加が2023/3期の期首にあった前提で計算し直している。

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

配当予想(円) 0.00 (会社予想)
株価(円) 1,450 2025/10/7(終値)

会社概要

1952年に創業者の戸田日出男が主として医薬品卸売業を目的として大阪市中央区に光成薬品を設立した。2017年に光成薬品をグループ会社として新規事業の展開を目的に、前身であるヘルステック株式会社を設立後、2022年11月に現在の社名へ商業変更した。

2021年9月に、海外向けECプラットフォーム「synapse」をリリース後、2022年12月に国内医薬品ECプラットフォーム「光成マーケット」をリリースした。

2025年10月7日、TOKYO PRO Marketに新規上場した。

同社グループは企業理念として「We will achieve smooth global access to medicines(医薬品の流通を円滑にする)」を掲げ、「医薬品卸売事業」を主たる事業とする。

国内外双方に向けた事業領域を有し、ECシステムとリアルな調達・販売業務が連動した体制を構築している。

医薬品流通のDX(デジタルトランスフォーメーション)を具現化する国内外のECプラットフォームを中核的なサービスとし、単なる受発注システムにとどまらず、業務の効率化・情報提供・在庫の再流通といった付加価値を備えている。

①国内向けの医療用医薬品ECプラットフォーム「光成マーケット」は、医療用医薬品をはじめ、医療現場で使用される関連商品を一括して取り扱う業界特化型のECプラットフォームである。

②海外向けの日本製医療用医薬品データベース「synapse」は、日本で承認された医療用医薬品の情報を英語で網羅的に掲載し、海外の医療機関、医薬品輸入業者、研究機関などを対象に、製品情報の提供から見積請求・発注支援までを一貫して提供する、同社独自のグローバル情報提供プラットフォームである。

企業データ

主要株主(2025/9/12) (%)
1 戸田 晃平 96.60
2 戸田 さおり 3.40
(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 4 番 2 号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として本レポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、本レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則(平 14.1.25)」に基づく表示>

1. フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. フィリップ証券は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第 102 条の規定または福岡証券取引所の定める「特例」第 102 条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser または F-Adviser、あるいはその両方に就任する旨の契約を締結いたしております。また、フィリップ証券は、東京証券取引所の定める「特例」第 135 条または福岡証券取引所の定める「特例」第 135 条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っています。